



Sustainability アクションは個人で始まる

Dr. Karolin Jiptner, 工学部国際交流センター教員、SDGs推進室
(元々は太陽光発電の研究者)



Outline

1. Sustainabilityは個人で始まる意識
2. 個人アクションの実例
 - I. アクションはなんでも良い、小さいことでも！
 - II. カーボンフットプリント計算機
 - III. 工学部で「Diversity Square」の設置

Sustainability - 持續可能性



ニュースで見たことがありますか？

- 個人でも変化を始めることはできる
- 政府や企業の責任だけではない
- 他の人のアクションを待つ溶融がない

政府、企業、団体、個人

=> 誰でもはできることがある



Outline

1. Sustainabilityは個人で始まる意識

➔ 2. 個人アクションの実例

I. アクションはなんでも良い、小さいことでも！

II. カーボンフットプリント計算機

III. 工学部で「Diversity Square」の設置

I. アクションはなんでも良い、小さいことでも！



- 昔のCrazy活動：自分で決めた「電気使用禁止の日」、「100km以内は全て自転車」



➡もう、今はできない。。。

- YUCaN（山形大学カーボンニュートラルショップ等を行う -> 学内外、
- YUCaN学生部会を設置した
- 英語授業でもSDGsについての
- 国際交流センタープログラムで



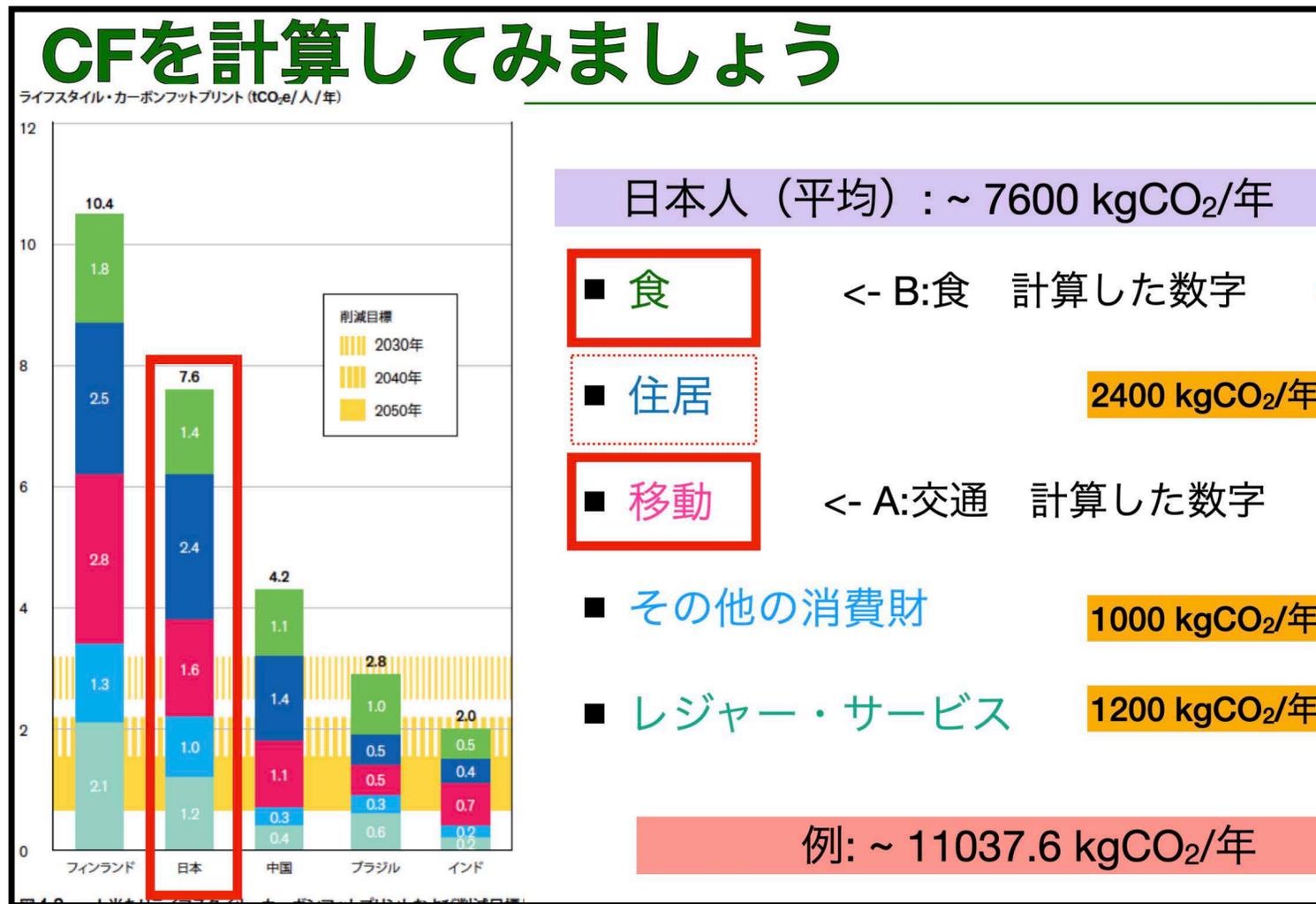
2021オンライン タイ交流プログラム
階段おすすめポスターの設置



II. カーボンフットプリント計算

- 自分はどのぐらいCO₂を排出しているのは知っていますか？
- ワークショップ、学校訪問や展示会で個人個人のCFを計算しています

目的：個人の意識を高める



フットプリント

12,044kg/年

世界の平均 4,232 kg/年
日本の平均 8,586 kg/年

[詳細をみる](#)

リーフ

304リーフ

今日のリーフ 0 リーフ
今月のリーフ 0 リーフ

[詳細をみる](#)

アクション

23回

今日のアクション 0 回
今月のアクション 0 回

[詳細をみる](#)

誰でもアクセスできるホームページの設置
Change the World株式会社とのプロジェクト

移動

エネルギー

食事

家事

衣類・雑貨

キャンペーン

おすすめアクション

new 化粧品のパラシック容器包装は減らせる。各企業の取り組み

new 速度遵守に効果あり。「エコ・ドライブ」でめざす環境に優しい運転マナー

new なぜ電気の使用でCO₂が増える？日本の7割を占める火力発電の仕組み

new サスティナブルな生理用品でプラスチックごみを減らそう

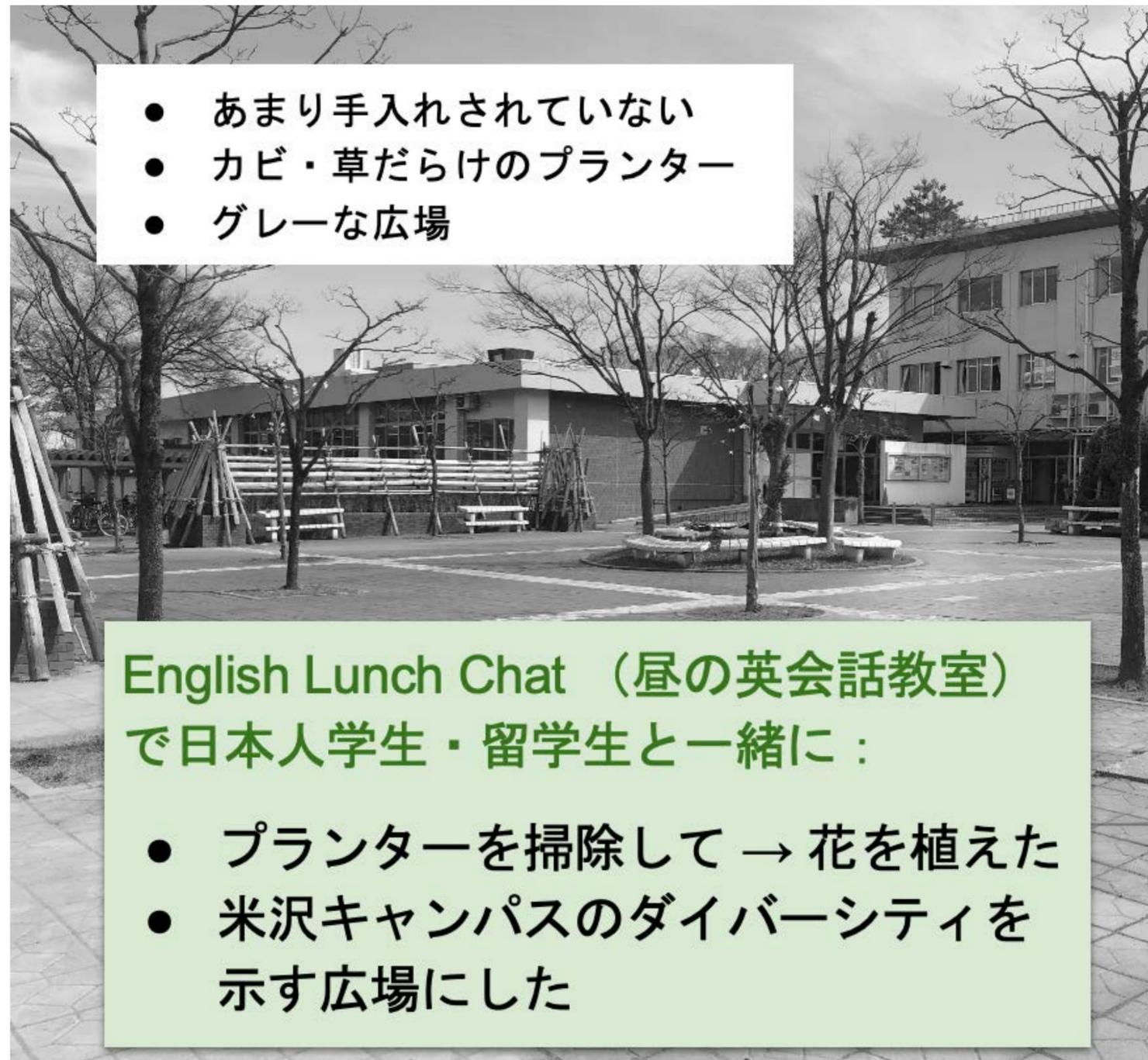
new 寒冷地で次第で、ガ省エネ利用

III. 工学部で「Diversity Square」の設置



III. 工学部で「Diversity Square」の設置

- 不平等をなくすためにお互いを「知る」のは必要



III. 工学部で「Diversity Square」の設置

掲示した旗：

1. 学部間交流協定を結んでいる国の旗
2. LGBTQ+とトランスジェンダーの旗



Diversity Square

多様性の広場

山形大学は、海外の留学生や教職員の皆さんを歓迎し、多様性を尊重します。プランターに掲げてある国旗は、山形大学工学部が学部間交流協定を結んでいる国々のものです。また、LGBTQ+の旗とトランスジェンダーの旗には全ての人々が互いに多様性を理解し、認め合おうという願いが込められています。

Yamagata University celebrates students and staff from international countries and is a proud supporter of all those belonging to the LGBTQ+ community.

グリーン化の作業は学生有志と国際交流センターが行いました。 工学部 2021.11

アクションは追加アクションを生み出す！

- Diversity Squareについて、突然、学生から素晴らしい追加提案がありました
- 建築デザイン学科の学生さんは留学生と一緒に椅子やベンチをデザインすると広場をもっとinternationalにする



Thank you for listening

Let's change the world together!!

